



データを可視化し、AIの将来予測で飲食店経営を最適化 データ分析ツール「Insight」提供開始

世界24カ国に飲食店の予約・顧客管理システムの開発・提供等を行う株式会社TableCheck（本社：東京都中央区、代表取締役社長：谷口 優、以下、テーブルチェック）は、データ活用によって飲食店経営を最適化するBI*¹ツール「Insight（インサイト）」を2020年3月1日、新たに提供開始いたしましたのでお知らせします。

*1…ビジネスインテリジェンスの略。企業などの組織内にある様々なデータを、収集・蓄積・分析・報告することで、経営上の意思決定にいかす手法や技術のこと



データの可視化とAIによる将来予測が、

「ヒト・モノ・コト・トキ」すべてを最適化する

「Insight」は、飲食店のあらゆる情報を瞬時に可視化・分析し、さらにAIによる将来予測によって、飲食店経営の意思決定を正しく導くデータ分析ツールです。データにもとづいた精密な現状把握と将来予測により、価格や人件費、食材発注量、営業時間、予約数、販促費などの費用対効果をデータで把握したうえで、ヒト・モノ・コト・トキすべてを最適に設定することが可能になります。当社の予約・顧客管理システム「TableSolution」が、ネット予約により現場オペレーションを自動化・最適化してきたのに対して、「Insight」は、「TableSolution」に蓄積されたデータを活用することで経営を自動化・最適化するものです。「Insight」により飲食業界におけるデータ活用が進めば、店舗マネージャーやシェフなど特定の人物の経験と勘に依存した属人的な経営から脱却し、飲食店の経営効率を飛躍的に向上させ、業界全体の利益最大化を図ることが可能になります。飲食店経営を次の時代へと進化させる「Insight」で、「感覚的」から「戦略的」な経営を一。

「Insight」の各機能について

ダッシュボード・アンケート機能

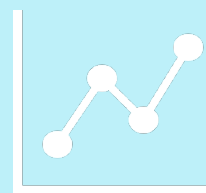


予約チャンネル、リピーター、キャンセル率…

あらゆる情報を可視化・分析

予約チャンネル比較やリピーター動向、キャンセル分析などあらゆるデータを可視化し、それぞれの費用対効果を把握し、意思決定を正しく導きます。さらに、アンケート機能で顧客満足度調査も自動的に実施可能。

AIによる将来予測



AIの将来予測が

ヒト・モノ・コト・トキを最適化する

来月の売上・来客数が事前に把握できれば、あらかじめ適切な施策を実施することができ、価格、スタッフィング、仕入れ、営業時間、マーケティングなど、各種コストの最適化を図ることが可能になります。

カスタマースコア



企業を越えて共有するカスタマースコア

ゲスト一人ひとりに合ったおもてなしを

定量・定性的データからカスタマーをスコアリングし、企業を越えて共有するカスタマースコア機能。飲食店がスコアに応じた優待を潜在顧客にも提供することで、優良顧客とさらにマッチングしやすい環境に。

※2020年中提供開始予定

マーケティングオートメーション
最適化ソリューション

カスタマーとレストランを最適マッチング

マーケティングを次の時代へ

不特定多数へ訴求する広告ではなく、カスタマースコアを活用して、自店舗に合ったターゲットだけを抽出。効果的なアプローチが可能になります。飲食店のマーケティングを自動化、最適化する次世代のマーケティングツールです。※2021年以降提供開始予定



飲食店経営が飛躍的に進化する
「データ分析」と「AI予測」

開発責任者 ジェイソン・ペリー博士のコメント

データ分析と将来予測で 飲食店の利益を“最大化”

予約システムから抽出したデータを瞬時に可視化し、マシンラーニングが売上や来客数など将来を予測します。私たちの目標は、「Insight」を通じて、予約データや来店客の消費行動パターンを特定し、利益を最大化することで、飲食店の経営効率を飛躍的に向上させることです。

リアルタイムの店舗データと連動 高い精度のAIによる将来予測

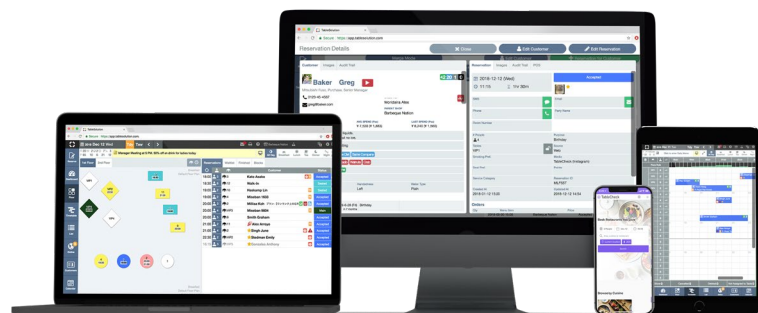
当社の予約・顧客管理システム「TableSolution」から抽出したリアルタイムのデータをもとにしているため、非常に精度の高いAI予測が可能です。食事、ウォークイン、キャンセル、売上などをAIが予測し、在庫管理、スタッフィング、プライシング、マーケティングを最適化します。

Head of Data Science Jason Perry

「Insight」開発責任者、Head of Data Science ジェイソン・ペリー博士。スタンフォード大学で経済学博士号を取得後、ボストン連邦準備銀行で金融エコノミストとして従事。日本銀行、Barclays Global Investors Japan Ltd.、BlackRock Japan Co Ltd.などを経て、2018年5月テーブルチェックにHead of Data Scienceとして参画。これまで従事してきたリスク分析、ビジネス戦略、データサイエンスなどの知見をいかして、データとテクノロジーによる飲食業界の革新に取り組む。



— ABOUT US —



テーブルチェックは、「Dining Connected ～世界中のレストランとカスタマーの最高の架け橋になる～」をミッションに事業を展開する日本発レストランテックカンパニーです。世界中のレストランとカスタマーを繋ぐプラットフォームを創造し、テクノロジーを活用した次世代の「おもてなし」を実現します。現在、展開している主なサービスは、飲食店向け予約・顧客管理システム「TableSolution」と、ユーザー向け飲食店検索・予約ポータルサイト「TableCheck」。24時間365日リアルタイムの空席情報を把握することで、飲食店にもユーザーにもより良いレストラン体験の実現をサポートしています。

世界各国*¹から優秀なメンバーが集まり、業界のイノベーターとしてマーケットをリードしています。現在24か国、約4900店舗の飲食店で「TableSolution」をご利用いただいており*²、月間の予約者数は約102万人*³に達しています。世界中に展開する大手グローバルホテルチェーンや星付きレストランを筆頭に、厳しい水準と高い信頼性を求める一流のレストラン・飲食企業を取引先として抱え、日本国内にとどまらないグローバルな事業展開を実現しています。 *¹…2020年1月末時点で18国籍のスタッフが在籍 *²、3いずれも2020年1月末時点

- 会社名** : 株式会社TableCheck
- 所在地** : 東京都中央区銀座2丁目14番5号 第27中央ビル
- コーポレートサイト** : <https://corp.tablecheck.com/>
- 創立年月** : 2011年3月
- 資本金** : 1億円（累計調達総額10.65億円）
- 事業内容** : クラウド型レストランマネジメントシステム「TableSolution」、
飲食店ネット予約「TableCheck」の開発・提供
- 拠点** : 9拠点（東京本社、大阪、福岡、韓国、シンガポール、インドネシア、タイ、
オーストラリア、UAE）

【本件に関するお問合せ先】

株式会社TableCheck PR：望月

Mobile [090-7100-2809](tel:090-7100-2809) / FAX [03-5565-0118](tel:03-5565-0118) /E-mail mochizuki.mikako@tablecheck.com